

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ジャパン マリンユナイテッド株式会社 因島事業所

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市因島土生町 2477-16

(3) 業種

3131 船舶製造・修理業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、令和3年度から令和7年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

ジャパンマリンユナイテッド株式会社因島事業所は、ISO14001での要求事項を満足し、当社の「ジャパンマリンユナイテッド環境基本方針」にのっとり、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識するとともに、環境負荷低減への取組が事業継続及び発展に必須であるという信念を持ち、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動する。

2. 方針

(1) 電力・ガス（アセチレン・酸素・LNG・都市ガス等）・油（ガソリン・軽油等）・水等の削減によるエネルギー使用

合理化策の推進

(2) 廃木材・廃プラスチック類・ブラスト廃砂等の廃棄物排出量の削減、リサイクルの推進による省資源及

び分別回収の推進

(3) 大気・水質・土壌・騒音・環境汚染物質等の公害防止対策の推進（特に油流出による海面汚染の防止）

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25年度	令和2年度
二酸化炭素	5,894	3,186

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO2					0	
非エネルギー起源CO2					0	
メタン					0	
一酸化二窒素					0	
その他 温室効果ガス					0	
温室効果ガス 実排出量総計					0	
温室効果ガス みなし排出量		-			0	
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

総労働時間(千時間)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 2 5 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 7 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	5,894	943	6.25	46.9	3,023	911	3.32
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	5,894	943	6.25	46.9	3,023	911	3.32
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	2,051	943	2.17	31.3	1,359	911	1.49
目標設定の考え方	排出量を直近年度の5%削減(毎年1%削減)、原単位見込み数値は直近年度の1%削減とした。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料の使用量を3%削減	1. 温室効果ガスの排出の少ない燃料への転換 (LNGの導入) 2. 自動車の効率的運用 (アイドリングストップ) 3. 省エネパトロールによる啓蒙
2	電気使用量の削減	電気の使用量を3%削減	1. 電力の契約先の変更 (CO2排出係数の減少) 2. 省エネ型電気機器への更新 (エアコン・給湯器) 3. 冷暖房温度の適正管理 4. 効率的な休日出勤 5. エア-漏れ防止による、コンプレッサー稼働率の削減 (エア配管更新等設備補修) 6. 昼休みの消灯 7. 照明をLED照明に転換 8. 省エネパトロールによる省エネに対する啓蒙
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別紙2のとおり

(2) 実施状況の点検・評価

ジャパンマリーユナイテッド(株)因島事業所エネルギー管理体制に基づき、省エネ推進委員長を中心に省エネ活動を進める。事務局でエネルギー使用実績をまとめ評価する。

(3) 計画書等の公表

工場に備え付けて閲覧する